

NPO法人玉川まちづくりハウス 2012年度活動報告

〒158-0085 東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10 TEL:03-3721-8699 FAX:03-3721-8986
http://www.tamamati.com E-mail:tamamati@q06.itscom.net

2012年度トピックス

情報発信事業

- ・『今日は九品仏を歩こう。』
- ・『みどりと花の CASE BOOK』

世田谷区地域の絆推進事業
助成金 227,000 円

世田谷区地域の絆推進事業
助成金 244,913 円

2012年度トピックス

情報発信事業

■『今日は九品仏を歩こう。』を発行しました！

『今日は九品仏を歩こう。』という小さな冊子ができあがりしました！
これは、昨年度、玉川まちづくりハウスで九品仏地区の魅力を探そう！というテーマを掲げ、世田谷区市民活動推進課の事業「地域の絆推進事業」に応募して、地域のみなさんにインタビューや取材をし、作成したものです。

小さな冊子ですが、地域の名物ともいえる人物紹介や、地域のバラのネットワーク、小学校の桜のエピソードなど、これまでどこにもない視点で、でも地域のちょっといいところを切り取ることができたのでは？と自負しています。

何より、「冊子を作るので…」と説明を続けるうち、これまでお目にかかったことのない方にお話を伺うことができたり、そこからまた思わぬ新しいつながりを感じるられたことは、私たちにとって大きな収穫でした。

今回は九品仏駅周辺のまちを取りあげましたが、次年度は同じ助成金を取り、奥沢駅周辺で再度トライしてみたいと企画しています（関連記事7 p）。



■『みどりと花の CASE BOOK』発行のお手伝いをしました！

玉川田園調布住環境協議会は、世田谷区市民活動課の「地域の絆推進事業」の助成金をもとに、みどり豊かなまちづくりを目指すため、私たちの身近な地区内外の沿道緑化、小さなみどりの「魅力あふれるCASE」を発見するビジュアルな冊子を発行しました。ハウスはこの冊子の編集デザインを担当。今後どのように活用していくか楽しみです。（関連記事2 p）。



地域協働事業

お手伝い事業

- ①玉川田園調布住環境協議会
- ②楽多の会
- ③クラシック音楽を楽しむ会
- ④安全・安心まちづくり
- ⑤ねこじゃらし公園

ネットワーク事業

- ①子育て支援活動
- ②社会資源発掘
- ③地域講座
- ④玉まちフェスタ

企画・調査事業

- ①園田邸・「昭和の名作住宅に暮らす」展

情報発信事業

- ①ハウスニュース
- ②冊子
- ③ホームページ

NPO 連携事業

- ①住まいまちづくり相談



はがき絵展会場入口

地域協働事業—世田谷区玉川地域を対象に活動しています

お手伝い事業

それぞれの活動が発足するときの支援活動を行いました。その活動を担う人材が別に現れて活動資金も別に調達し独立していくことが、ハウスの活動の特徴です。今は事務局作業の一部を支援しています。

- ①玉川田園調布住環境協議会・・・事務局担当

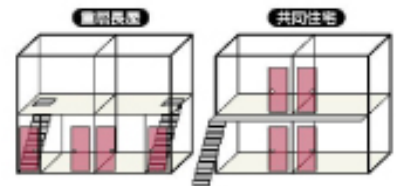
●まちづくり協定改定について

昨年から、みどりを守ることにについて玉川田園調布一・二丁目まちづくり地区協定の改定を目指し、議論を続けています。

玉川田園調布一・二丁目のまちづくり協定第11条（敷地内の樹木の保全、緑化等）に関する規定は、区による緑化基準の充実、緑化の法的義務付けにより、不十分になりました。そのため第11条を区の基準などに対応して変更することが提案され、総会の賛同を得ました。今回は、敷地面積250㎡以上の敷地について検討いたしましたが、その後事務局が検討した結果、250㎡以下の敷地との緑化基準面積の差が大きいことがわかり、さらなる改正の検討が必要と考えています。

●近隣で問題になっている「重層長屋」について

従来の「長屋」を積み重ねたような複数階を持ち、共用の廊下やエレベータがなく全世帯の玄関が1階にある新しい形の共同住宅が世田谷で相次いで建てられています。従来の「共同住宅」が認められない路地状の敷地にもこの「重層長屋」は建てられてしまうため近隣の住民から防火などを心配する声が上がっています。住環境協議会は世田谷区と協力し対策を考えていきます。



●みどりと花の CASE BOOK を作製しました

世田谷区市民活動課の「地域の絆推進事業」の助成金をもとに冊子をつくりました（関連記事1p）。

- ②地域の福祉を考える楽多の会・・・事務局担当

6月25日（火）～7月1日（日）宮本三郎記念美術館で、「心のふれあい はがき絵展」が開催されました。楽多の会のはがき絵グループは2001年7月に第1回目が開かれました。それから10年以上。2006年にも、同じ宮本三郎記念美術館で、展覧会を開催したことがあります。今回もまた、会場に入ると暖かい雰囲気を迎えられ、すばらしい会でした。

サロン活動は、入れ替わりはあるものの参加者もスタッフも増え、毎週水曜日デイホーム玉川田園調布の1階は30名以上も集まって、笑顔が絶えません。あんしんすこやかセンターや、デイホーム職員とも交流できるデイホーム玉川田園調布1階の地域交流スペースでこの活が継続できることを大切にしていきたいと考えています。課題はやはりスタッフの充実です。

③クラシック音楽を楽しむ会・・・ハウスとの情報交換

●会の開催は155回目を数え、オペラの会も大盛況

毎月第4土曜日に植村邸で行われる「クラシック音楽を楽しむ会」も2012年9月で155回となりました。毎回40名前後のお客さまがいらして大盛況です。

また「クラシック音楽を楽しむ会」から派生した宮本三郎記念美術館の「音と映像で楽しむクラシック講座」も今年度は3回開かれ、こちらも毎回定員50名がすぐに予約でいっぱいになってしまうほどの人気です(以下の演目)。

2012年1月22日(土)「さまよえるオランダ人」

5月27日(日)「リゴレット」

9月15日(土)「エフゲニー・オネーギン」



④安全・安心まちづくり(防犯パトロール)

●パトロール・美化・挨拶の3要素の定着

昨年度の活動報告で、日常生活の中で安全安心なまちづくりを実現する三要素「気儘なパトロール」「まちの美化と清掃」「挨拶」を定着させることと、シンポジウムで私たちの活動を紹介するなど事例発表が増えていると報告しましたが、この路線は着実に実行されています。

●シンポジウムで活動を紹介

昨2011年10月には東京ビッグサイトで開催された危機管理産業展のスペシャルカンファレンスでパネリストを勤めたり、2012年9月には小諸市での事例発表などがその例です。

また2011年12月には日本市民安全学会と警察政策学会との共催で「安全・安心まちづくりシンポジウム」を開催し、奥沢中和会と九品仏自治会の方々の参加を得ました。

2012年1月には上記二学会と町会が共催した「江戸しぐさ入門講演会」の実務を町会の文化・福祉グループと協働して担当しました。

●安全安心まちづくりニュース

新しい試みとしては2011年5月から月一回発行している「安全安心まちづくりニュース」に2012年3月号からは隊員紹介のコーナーを設けました。紹介するのは地域活動に協力的な方々まで対象を広げていますから、そのうちにハウスの活動に参加しておられる方にも登場願うかもしれません。また町会の防災チームが主管している「スタンドパイプ」の運用に関して協力したり、前田代表が「九品仏地区身近なまちづくり推進協議会・安全部会委員」の委嘱を受けるなど活動の場と幅に広がりを見せています。(前田浩雄)



「江戸しぐさ入門講演会」にて

⑤ねこじゃらし公園・・・活動参加

ねこじゃらし公園が開園して18年。市民活動団体はどれもメンバーの新陳代謝、継承が大きな課題ですがグループねこじゃらしも同様ですが、広報ねこじゃらし紙の作成等の日々の活動、4月のバースデイイベント、玉川公園管理事務所との協働で行う全面刈り込み等季節ごとの活動は変わりなく、すすめられています。パーゴラの改修工事も終了しました。3.11以降、子どもの遊び関連、また外遊びの拠点として再び研究、調査対象として注目されているようです。



ネットワーク事業

他の団体とネットワークすることで広がりを持ったり、こちらが企画して人と人との結びつきを深めようという事業です

助成金 250,000 円

①子育て支援活動

●プレーリヤカー、リピーターのママが増えています

おもちゃを積んだ小さなリヤカー（プレーリヤカー）を公園に持って行って、子どもの外遊びを推進するという「世田谷区自然体験遊び場づくり事業」を月1回ほど行っています。今年度も引き続き等々力保育園と協働して園の敷地内にプレーカーを置かせていただき、保育園の地域交流の企画と連動し、保育園のお向かいの「ねこじゃらし公園」で活動を行いました。

3年間この活動をお手伝いくださった細見佑子さんに代わり新しく世田谷の公園でプレーリーダーの経験がある三土真規子さんにお手伝いいただくことになりました。



②社会資源発掘事業『宮本三郎記念美術館と地域の会』

●「人ひろば」では多彩なゲストをお招きしています

宮本三郎記念美術館を応援している「宮本三郎記念美術館と地域の会」との懇談のなかから生まれた講演会「人ひろば」。今年度は第13回～第16回が行われました。

「人ひろば」は奥沢～玉川田園調布～自由が丘の地域にゆかりのある人物を講師にお招きして多彩なテーマでお届けする講演会となっています。

10月16日（日）第13回「私の『パテ屋』事始め
～料理も建築である？～」

講演者：林のり子

11月27日（日）第14回「絵の中の古楽器、そして紅茶」

講演者：風間千寿子

2月26日（日）第15回「世田谷の水の路について」

講演者：宮下正雄

8月25日（土）第16回「古今亭菊六独演会」

講演者：古今亭菊六



玉川田園調布で「パテ屋」を営む林さんが進めてきた「世界の味のしくみを探る」作業や、「自然を読み解く」研究も垣間見える楽しいお話となりました（第13回）。
（写真／宮本三郎記念美術館提供）

2012年度年間スケジュール

2011	10	11	12	2012	1	2	3
	地域講座 カリグラフィー 10.3 プレーカー 10.19 地域講座 カルトナーージュ 10.9	中原区 ワークショップ 11.5 地域講座 カリグラフィー 11.14 プレーカー 11.16 地域講座 ハンギング 10.16	中原区 12.17 ワークショップ プレーカー 12.21 地域講座 12.12/19 カリグラフィー フラワーアレンジ 12.8 ハンギング 12.12 園田邸音楽会 12.10 ★ハウス総会 12.9		地域講座 1.23/30 カリグラフィー プレーカー 2.23	地域講座 2.13/20 カリグラフィー プレーカー 2.15/29	地域講座 カリグラフィー 3.12/26 プレーカー 3.7/21 園田邸音楽会 3.31

③地域講座：多彩な講座をご紹介します

■カリグラフィー

(毎月1・2回 / 参加者13名
講師：根岸香津代先生)

西洋書道と呼ばれるカリグラフィー、参加者が増えたため初級と中級にクラスを分け、フェスタで作品展示をしました。



■ハンギングバスケット

(11/12月：参加者5名
講師：池田恵美子先生)

季節の花を十数株、鉢に寄せ植えするハンギングバスケットは大好評で、何回も参加されるリピーターの方も。



■フラワーアレンジ

(12月：参加者6名
講師：神田勝弘先生)

昨年に引き続きラ・ブーケッタリーの神田さんにクリスマスのアレンジを習いました。大満足のできばえでした。



■カルトナーージュ

(10月：参加者3名
講師：藤原秀子先生)

厚紙に布を貼り付けて小箱を作るカルトナーージュ。筆記具用のリボントレを作りました。



■子どものための工作講座

(8月：参加者4名
講師：嶋田英津子先生)

夏休み特別企画として、昨年に引き続き、子どものための工作講座をしました。今年はペットボトルを利用したわなげ作りに挑戦！飾り付けを楽しんだあと、わなげで遊びました。



*地域講座を通して今年度新会員になった方
ニュース会員5名

*そのほか運営委員会、ニュースレターの発行、世田谷区の住宅相談などを毎月行っています。

4	5	6	7	8	9
<p>地域講座 カリグラフィー 4.2/9/30</p> <p>プレーカー 4.18</p> <p>『今日は九品仏を歩こう』完成</p>	<p>★玉まち フェスタ 5.20</p> <p>地域講座 カリグラフィー 5.7</p> <p>プレーカー 5.16/30</p> <p>園田邸音楽会 5.27</p>	<p>地域講座 カリグラフィー 6.4</p> <p>プレーカー 6.20</p>	<p>地域講座 カリグラフィー 7.2</p> <p>プレーカー 7.18</p>	<p>地域講座 子ども工作 8.10</p> <p>地域講座 カリグラフィー 8.13</p> <p>プレーカー 8.29</p> <p>『みどりと花のCASE BOOK』完成</p>	<p>地域講座 9.3/10 カリグラフィー</p> <p>プレーカー 9.19</p> <p>昭和0の名作住宅展 9.21～10.21</p>

④玉まちフェスタ

●フェスタ売上げから今年も震災復興へ寄付

5月20日(日)10時～ 晴天に恵まれ、玉川まちフェスタが開催されました。

早いものでバザーを始めてから9年になります。7回目の2010年からは、「玉川まちフェスタ」と銘打って「まちのイベント」にするべく頑張ってきました。フェスタになって3回目、毎回毎回のことですが、バザー品の値付け、宣伝等、本当に多くの方々に手伝っていただきました。ハウスだけではとてもできない「フェスタ」に育ってきたと思います。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

昨年に引き続き、売上げの一部を東日本大震災で被災した子どもたちのために活動している世田谷区のNPO法人「日本冒険遊び場づくり協会」に寄付しました。(http://www.ipa-japan.org/asobiba/modules/news/)

●たくさんの方の協力を得て

昨年からのフリーマーケット参加のみなさん(ラオスモン族支援のグループや、被災地福島への支援としての台湾茶販売の方もいらっしゃいました)。今年も美味しいカレーを持ってきてくださった川崎市障がい者施設「アルデンテ」のみなさん。毎年来て下さる練馬の障がい者施設のお菓子「かすたね」と、北村さんと中村さんの焼き菓子。

もう一つの会場アビターレでも地域講座カリグラフィの作品の展示とカード販売、いつも協力して下さる森井千春さんの美味しいケーキのChiharu's Cafe、のびのび文庫の松沢幸子さん、田中英子さんによる子どもたちのためのおはなし会、地域通貨DENでお世話になったビゴの焼き菓子、そして池田恵美子さんのハンギングバスケット、カラーセラピーと色のメッセージ付きカラーキャンドルを持ってやっ

てきてくださった小池安雲さん。参加していただきありがとうございました。

相変わらず、デイ・ホーム会場と、アビターレ会場への人の流れの誘導が課題です。それでも今年は沿道のお宅にポスターと風船を取り付けさせていただいて、少しでもアビターレ会場へ人が流れるようにと努力してはみたのですが、知名度を上げるために、もっと準備と対策が必要です。早くポスターを貼らせていただいたみなさま、ありがとうございました。

●えんがわinnのミニコンサート

そして、3時すぎから、東儀秀樹さんのミニコンサート。新緑の気持ちのよい空間の中で、素晴らしい演奏を聴け、とても幸せでした。なんと100人ものみなさんがいらしたとのこと。東儀さんにご厚意でいただくのも今回で3回目。「本当にすばらしかった!」「いい時間をありがとう!」という声をいただくごとにスタッフ側も感謝の気持ちで一杯です。

「飲み物が取りづらかった」、「チケットをデイ・ホームで前売りしたらどうか」とのご意見もいただいています。様々な反省を共有して、また来年、頑張りたいと思います。みなさま本当にありがとうございました!



		収入	支出	
	バザー会場売上げ	438,342		
	アビターレ会場売上げ	45,050		
日本冒険遊び場づくり協会へ	えんがわinnミニコンサート	100,000		半額を震災復興寄付
	フリーマーケット参加費 12団体	12,000		全額を震災復興寄付
	その他寄付	18,415		全額を震災復興寄付
経費等			57,341	
	A 収入合計	613,807		
	B 支出合計		57,341	寄付額 50000+12000+18415
	A-B		556,466	80,415
	寄付後収入			476,051

調査事業

地域の資産を地域の暮らしに活かす事業 CAM (コミュニティ・アセット・マネジメント)

①園田高弘邸の継承と活用を考える会プロジェクト

●集いが2回行われました

「園田高弘邸の継承と活用を考える会」今年度はピアノの演奏と建築にまつわる講演を聞くサロンを2回開きました。

2011年12月10日 演奏：嶋田彩乃 講演：内田祥哉

2012年3月31日 演奏：ドゥオール (藤井隆史&白水芳枝)

2012年5月27日 演奏：チェロ/林 峰男 ピアノ/嶋田彩乃
講演：磯 達雄

毎回50名ほどのお客様が音楽とお話を楽しんでいます。



●「近代住宅遺産の継承を考える」シンポジウム

2012年3月18日、文京区の「本郷求道会館」にて、「近代住宅遺産の継承を考える」と題したシンポジウムが行われました。このシンポジウムは、「園田邸の保存と継承を考える会」に参加している「NPO 法人玉川まちづくりハウス」と「NPO 地域再生プログラム」が共同主催したもので、近年、日本各地で存続の危機に直面している「近代住宅遺産」を次世代に継承するための課題と方法、そして今後の展望について話し合われました。



●『昭和の名作住宅に暮らす』展開催

2012年9月21日(金)から1カ月、ガレリア・アビターレにて『昭和の名作住宅に暮らす一次世代に引き継ぐためにできること：吉村順三、吉田五十八、前川國男による三つの住宅』展が開催されました。この展覧会を機に次年度は近代住宅を残す仕組みづくりについてハウスも取り組んでいきたいと考えています。



情報発信事業

①ハウスニュース

毎月月末に会員向けニュースを発行しています。ニュースではハウスの活動を随時紹介しています。2012年4月号で200号を迎え、たくさんの方にお祝いのコメントをいただきました。

②冊子

今年度は世田谷区市民活動課の「地域の絆推進事業」の助成金を獲得し、『今日は九品仏を歩こう。』という小冊子を発行しました(関連記事1p)。

次年度も第2弾として奥沢編を準備しています。

③ホームページ

昨年的大幅リニューアルもわかりやすいと好評です。ブログとツイッターで地域講座の日程などすぐにお知らせしたい情報を、リアルタイムでお伝えできるようになりました。

玉川まちづくりハウスのホームページ
<http://www.tamamati.com>



NPO 連携事業

①世田谷区住まいまちづくり相談

「住まい・まちづくり住宅相談ネットワーク」は、世田谷区の相談事業、住宅街づくり総合相談を担当する世田谷区 NPO 法人 3 つで作っている団体です。住まいの困った！を、まちづくりに関わる建築士としてアドバイスしていくこと目的にしています。

世田谷区 5 支所と三軒茶屋の夜間の 6 箇所月に 2 回ずつ開催され、玉川まちづくりハウスは、玉川地域と三軒茶屋の 2 箇所を担当しています。（一日 30 分枠 3 回、延べ 200 人が利用）。相変わらず、隣地境界のトラブル、リフォームの際の工事業者との話し合いの進め方等、コミュニケーションがらみの相談が多く見られ、世相を感じます。



専門性提供事業

川崎市中原区ワークショップ

専門性提供事業—今まで蓄積したまちづくりのノウハウを活かし、主に玉川田園調布以外でまちづくりのお手伝いをしています

● 2011 年 11 月 5 日、12 月 17 日の 2 回にわたって川崎市中原区の大型集合住宅住民組織支援事業をお手伝いしました

中原区ではこの数年、武蔵小杉や武蔵新城の駅周辺で大規模なマンション建設が進んでいます。一棟で数百戸という規模のマンションで、通常でいえばそれだけで一つの町内会や自治会を形成する規模です。通常、分譲マンションには管理組合が組織され、全戸を対象とした理事会という協議の場がありますが、住民側からはマンションの暮らしを楽しむために理事会とは別の住民組織を望む声もあります。また、行政には周辺の地域との調整や行政による地域社会統治制度（民生委員、消防団、子供会、自主防災会、防犯協会等）を機能させる必要性もあり、こうしたことから中原区では、建ってまもないマンションの住民組織づくりの支援事業を実施しています。

玉川まちづくりハウスでは、地域の住民活動支援の経験を活かして、講師の方をお招きしての講座やサロンコンサートを企画し、この業務をお手伝いしました。



■ NPO 法人玉川まちづくりハウス ■

運営委員長 伊藤雅春

運営委員 林泰義 平松陽一

監事 前田浩雄

事務局スタッフ 小西玲子（運営委員） 池田麻未 柴田希美絵 吉見千晶

製作 2012 年 12 月 1 日